



2025年8月8日
株式会社ゼロ

報道関係各位

車両輸送の舞台裏（5）～ドライバーの頂点「チーフパイロット」。 30代でカスタマーサービスセンターを率いた若きリーダーの哲学～

車両輸送のリーディングカンパニー、株式会社ゼロ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：高橋俊博、東証スタンダード：9028）は、「車両輸送の舞台裏」シリーズ第5弾として、当社の高品質・安全輸送の根幹を支えるドライバー職の頂点「チーフパイロット」の役割と、35歳という異例の若さでその大役に抜擢された埼玉カスタマーサービスセンター（以下CSC）所属・岩崎チーフパイロットの取り組みについてご紹介いたします。



輸送品質の基盤となる、ドライバーからの厚い「信頼」

ゼロの輸送品質は、ドライバー一人ひとりの高いプロ意識によって支えられています。そのプロフェッショナリズムを現場の隅々まで浸透させ、組織全体の能力を最大化するキーパーソンが「チーフパイロット」です。彼らは卓越した技術を持つだけでなく、CSCのリーダーとして、現場の安全と品質に責任を負います。

岩崎チーフパイロットが若くしてこの大役を任された背景には、同僚ドライバーからの強い信頼がありました。その信頼の源泉は、彼の誠実な人柄とコミュニケーションスタイルにあります。「人の話を最後まで聞く」という姿勢を徹底し、年上の部下には敬意を込めて「お願い」する。そうした彼のまわりには、自然と人が集まり、年齢や経験に関わらず誰もが安心して意見を言える土壌が育まれています。

彼の「ドライバーを指導するだけでなく、守る」という信念が、CSCの一体感を醸成し、個々のドライバーが最高のパフォーマンスを発揮できる基盤となっているのです。

対話と寄り添いで築く「自発的な安全文化」

「今年の目標は、輸送の安全で全CSCのトップになること。去年は悔しい思いをしたので、リベンジです」と、岩崎チーフパイロットは静かながらも強い決意を語ります。その目標達成のため、彼が何よりも重視するのが、ドライバーとの「対話」です。

ドライバー全員と個人面談を行い、一方的に指示を出すのではなく、対話を通じて各自に前年の仕事ぶりを自己評価させ、共に改善点を見つけ出すことで、一人ひとりのプロ意識と、安全に対する当事者意識を高めています。

また、新人教育においては、画一的なマニュアルを押し付けることはしません。1台積み車両の操作から、伝票の処理、車両点検、運転技術と、個々の習熟度に合わせてステップアップさせることで、新人が着実にプロへと成長できる環境を整備。「人に合わせた」丁寧な教育で、高い定着率を実現しています。



埼玉カスタマーサービスセンター所属・岩崎チーフパイロット

「私が目指すのは、短期的な成果ではありません。私がいなくなっても続くような、ドライバーが自発的に考え、行動する文化を根付かせたいんです」

岩崎チーフパイロットが言うその「文化」は、一般的なトラックドライバーのイメージとは一線を画します。孤高の職人や「一匹狼」を想起させることも多いこの仕事ですが、彼が率いる埼玉CSCでは、年齢や経験に関わらず、誰もが自然に声を掛け合い、困っている仲間がいれば手を差し伸べる「助け合い」の光景が日常となっています。



頼れるだけでなく、親しみやすさも兼ね備えた岩崎チーフパイロットは、部下にとって心強い存在

それは、岩崎チーフパイロット自らが常に挨拶や声掛けを欠かさず、一人ひとりの声に真摯に耳を傾ける姿勢を貫いてきた結果でもあります。その誠実さがドライバー間の壁を取り払い、新人や若手が安心してプロを目指せる温かい土壌を育てているのです。

熱い想いを胸に秘め、常に仲間の声に耳を傾け、一人ひとりに寄り添う。こうしたリーダーの確かな人間力こそが、ゼロの輸送品質と安全を支えているのです。

より深く知るには

今回のニュースレターでは、岩崎チーフパイロットのリーダーとしてのプロフェッショナルな側面に焦点を当てました。当社公式noteでは、彼がなぜ若くしてリーダーを志すようになったのか、その原動力となった過去の悔しい経験や、仕事に対する熱い想いをよりパーソナルなストーリー

として紹介しています。プロドライバーとしてのキャリアを考える上で、ひとりの人間の成長物語として、ぜひこちらもお覧ください。

●本記事掲載のゼロ公式note URL : https://note.com/zero_group/n/ndb24387b28bb

■株式会社ゼロについて

当社は、「安全・確実・迅速」をモットーに、新車・中古車をはじめとする各種車両輸送、港湾運送、車両整備、輸出入関連業務などを全国規模で展開する総合ロジスティクス企業です。長年の経験とノウハウを活かし、お客様のサプライチェーンにおける課題解決に貢献しています。

URL : <https://www.zero-group.co.jp>

■メディア・取材のご案内

株式会社ゼロでは、今回の取り組みについて、各種メディアの皆様からの取材依頼を随時受け付けております。現場におけるドライバーの活躍、デジタルツールの導入、全国ネットワークの活用や研修による現場支援の取り組みなど、当社独自の物流体制の詳細についてぜひご確認ください。

【お問い合わせ先】

株式会社ゼロ 広報担当 佐々木

TEL : 044-520-0106

Email : pr-zero@zero-group.co.jp

Web : <https://www.zero-group.co.jp>